

メジャーの規則を変え 投球も変え 28歳止まらないシンカー

靴「2足分」横滑り
今季の日本人大リーグでは、大谷翔平投手(28歳)が、大谷のツーシームは最速101・1km(約162km/h)で、9月3日アストロズ戦では横幅で最大53%も変化

エンゼルス）が現行ルールで史上初の投打同時規定到達（ベーブ・ルース以来104年ぶりの「二桁勝利」と二桁本塁打」を達成した。いずれの快挙も投手力の飛躍があってこそだが、8月から新球種「ツースイーム」の一段と打たれなくなった。そこでツースイームの使用前、使用後に分けて成績を比較してみた。

し、自ら「えぐい」と手応えを感じ取った。超高速の直球軌道から打者の手で軌どを全分難。ボールゾーンからストライクゾーンの念に及めば、手を出せない。ツースイーム単体でも被打率1割6分7厘と通用したが、打者に新球を意識させれば他の球種も生きる。球種別では

ツーンシームを本格的に使い始めたのは8月15日マリナー

最大53センチ

二重の
変化量

蓄積する終盤に数字を上



大谷ルール
新魔球ツーシーム
8月に導入しました
防1点良化しました

最大53%
「エグイ」
変化量

データ見る
2022シーズン
メジャー
日本人編

◆ツーンム 「シーム」はボールの縫い目。人さし指と中指を縫い目に沿って握る。最速1000㍑(約161km)前後のボールが大きく減速せず、打者の手元で左右に変化したり、沈む。大リーグでは「シンカー」と表現される。

使用前		使用後
8/9まで	期間	8/15以降
19	試合	9
10勝7敗	勝敗	5勝2敗
111 (5.84回)	投球回 (1試合平均)	55 (6.11回)
2.68	防御率	1.64
.214	被打率	.180

球種	球数 (比率)	最速	打数	安打	被打球	三振
スライダー	1027 (39.1%)	145.5	245	39	159	8
直球	725 (27.6%)	163.2	167	47	281	3
スプリット	315 (12.0%)	150.3	104	13	125	6
カットボール	238 (9.1%)	154.5	43	4	326	6
カーブ	227 (8.6%)	137.1	39	9	232	6
ツーシーム	97 (3.7%)	162.7	12	2	167	2
計	2629	610	124	203	231	21

【注】MLBによるデータ分析システム「スタットキャスト」による分類

◆日本人投手の22年成績◆

選 手 (所 属)	試 合	勝 敗	ホ ール ド	セ ーブ	投 球 回	安 打	本 塁 打	三 振	四 球	死 球	失 点	自 責 点	防 御 率
大 谷 翔 平 (エンゼルス)	28	15	9	0	0	166	124	14	219	44	2	45	43.2
通算4年(18・20～22年)	63	28	14	0	0	349	263	35	441	118	13	119	115.2
菊 池 雄 星 (ブルーイズ)	32	6	1	7	0	100	93	23	124	58	9	67	58.5
通算4年(19～22年)	102	21	31	0	1	466	474	89	450	190	20	285	260.5
阪 村 浩 一 (Rソックス)	49	1	1	3	0	50	55	4	40	27	0	23	21.3
通算2年(21、22年)	104	6	2	13	0	103	90	13	101	59	2	47	39.3
石 原 航 智 (レンジャーズ)	5	1	3	0	0	20	36	4	14	11	3	22	21.9
通算2年(21、22年)	15	3	7	0	0	60	81	15	38	24	7	53	51.7
大 谷 翔 平 (エンゼルス)	30	16	8	0	0	194	148	22	197	37	12	67	3.106
通算10年(12・14・16～22年)	242	95	75	0	0	1488	1195	187	1788	479	66	609	579.3

ダルビッシュ

8月で36歳となったが、衰えてはいない。3度目の開幕投手を務め、シーズン16勝は渡米1年目の12年に並ぶ大リーグ自己最多タイ。1イニングあたりの許走者を示す「WHIP」は0・95と大リーグ移籍後の自己ベストで、両リーグを通じ4位。ナ・リーグのサイ・ヤング賞アルカンタラ(マリーナス=0・98)を上回った。クオリティースタート(QS=先発6回以上、自責点3以下)25度は、02年野茂に並ぶ日本人最多タイ。QS率33・3%は20年に自ら記録した日本投手最高に並んだ。大リーグ実働10年目に到

達。日本投手の実働10年以上は野茂(12年)大家(10年)に次いで3人目だ。日米通算188勝(日本93勝、米国95勝)。楽天田中将大(日米190勝)とともに200勝の大台到達が射程内となった。

有原 昨年9月に戦力外となり、招待選手としてメジャーキャンプに参加。オープン戦で2試合連続5失点とアピールできず、開幕をマイナーで迎えた。8月にメジャー復帰し、1年4カ月ぶりに勝利を挙げても9月10日ブルージェイズ戦で4回途中11失点。日本戦で3度目となる1試合2桁失点を喫し、事実上の戦力外となった。

雄星 3月にブル
ージェイズと
3年総額3600万ドル（当時
のレートで1ドル115円
約41億4000万円）で契約。
価値の高い速球派左腕と
して新天地でのスタート
を切ったが、先発20試合
でクオリティスタート
は3度。8月18日以降は
メジャー通算4年目で初
めて、先発ローテーション
から外れ、救援に配置
転換となった。

沢村 8月28日に
メジャー40人
枠から外れ、出来高払い
が発生する50登板にあと
1試合足りなかった。9
月11日に自由契約。1年
目に比べ防御率3・06→
3・73、ホールド10→3
と成績を下げた。

沢村 8月28日にメジャー40人枠から外れ、出来高払いが発生する50登板にあと1試合足りなかった。9月11日に自由契約。1年目に比べ防御率3・06→3・73、ホールド10→3と成績を下げた。

ト成分のあるツーシムを加え、逆に曲がるスライダーとは相乗効果になる。

球が動けば早いカウントで打ち取れ、少ない球数で長いイニングを投げる効果も見られた。ツーシム使用后、平均投球回は5・84回から6・11回にアップ。胃腸炎のため4回降板（8月21日タイガース戦）、右手中指マメのため5回降板（9月10日アストロズ戦）があったにもかかわらず、平均投球回は上がった。9月には大リーグ自己最長タイの8回を2度マークし、大リーグで初の規定投球回到達につなげた。防御率2・33は100イニング以上投げた日本投手で95年野茂（ドジャース12・54）を上回る史上最高。来季は防御率1点台、ノーヒットノーランをマークしても不思議ではない。

【織田健途】（おわり）

誠也 ポスティ
ユニオ

渡米。デビュー4試合で
塁打、8打点をマークし
年岩村に並ぶ日本選手最
デビュー9戦連続安打。
は日本選手で最大谷以来4
りとなる月間最優秀新人
はれた。5月26日、二盗
に左手薬指を負傷して離
れたが、復帰した7月4
日2試合連続本塁打。9月
打数17安打（打率3割2
厘）と開幕当初の勢いが
続いた。来季は日本選手で松井
大谷しか記録していない
本塁打をクリアしたい。

◆

選手（所属）

大谷 翔平（エンゼルズ）
通算5年（18～22年）

鈴木 誠也（カブス）
筒香 裕智（パイレーツ）
通算3年（20～22年）

加藤 豪司（ブルージェイズ）
【注】順位の一は規定打
率に約2割に足り、パド

筒香 メジャー
目。日本
10年松井秀（エンゼ
来12年ぶり2人目の
番スタメンを果たす

日本人野手の22年成績◆

選 手 (所 属)	試 打 得 安 本 塁 打 三 死 盗 打 順	合 数 点 打 点 振 球 塁 率 率
太谷 翔平(エンゼルス)	157 586 90 160 34 95 161 77 11.273	26
通算5年(18~22年)	581 1966 326 530 127 342 612 273 66.267	
鈴木 誠也(カブス)	111 397 54 104 14 46 110 46 9.262	1
筒香 嘉智(パイレーツ)	50 170 11 29 2 19 50 19 0.171	1
通算3年(20~22年)	182 557 65 110 18 75 172 76 0.197	
加藤 凌男(ブルージェイズ)	8 7 2 1 0 0 1 3 0.143	1

【注】順位の一は規定打席不足。他に秋山翔吾が4月にレッズを自由契約になり、パドレス傘下3Aを経て6月に広島入団

秋山 開幕直前にレッズを自由契約に

パドレスのマイナーを経て6月に広島入団。大リーグ2シーズン通算打率2割2分4厘、本塁打なしと苦戦。

加藤 米国の高校出身。マイナー生活10年目の今季、日本のプロ野球経験では鈴木誠ど、多田野人、田沢純一に次ぐ4人目、野手では初の大リーグデビューを果たした。出場8試合に終わるも4試合はスタメン起用され、待望の初安打を記録。日本ハムからドラフト3位で指名された。

加藤 米国の高校出身。マイナー生活10年目の今季、日本のプロ野球経験では鈴木誠也、多田野数人、田沢純一に次ぐ4人目、野手では初の大リーグデビューを果たした。出場8試合に終わるも4試合はスタメン起用され、待望の初安打を記録。日本ハムからドラフト3位で指名された。

(おわり)